



きんきゅうそくほう しんすいせいあらわ 緊急速報! 新彗星現る

彗星は突然やってくる天体です。いくつかの彗星、例えばハレー彗星などは、決まった周期で太陽に近づくので出現を予想することができるのですが、これはむしろ例外で、多くの彗星は1回出現して次はいつか分からないのが普通です。

去る8月13日未明、静岡県掛川市に住むアマチュア天文家の西村栄男さんが発見した「西村彗星」もそんな彗星の1つです。かつて、新しい彗星の発見は天体観測者が得意とする分野でしたが、今では、危険な小惑星や、人工衛星の破片であるデブリの観測システムによって彗星も一網打尽に発見され、個人が活躍する場面は少なくなっています。そういう状況ですから、西村さんの発見は大きな価値があるといえるでしょう。

発見の価値以上に、この彗星が注目されるのは、9月中旬に太陽に近づき、地球からも明るく見えることが期待されるからです。太陽に最も近づくのは9月18日で、その距離0.222天文単位(3300万キロメートル)という近さです。ある予想では、その頃には2等級と人の目でも十分に観察できる明るさになります。このような彗星は肉眼彗星と呼ばれます。



2020年7月に現れた、ネオワイズ彗星。明るい空の中でも良く見えました(撮影:奈須栄一)

ただ見える位置が、9月上旬には、かに座~しし座~おとめ座とどんどん太陽に近づきます。観察には、9月5日頃が最も見える可能性の高い時期でしょうか。彗星は予想通り明るくなることもあれば、期待に反して明るくならないこともあります。久しぶりの肉眼彗星なので解説員も期待しています。

2023年8月22日記(解説員:田部 一志)